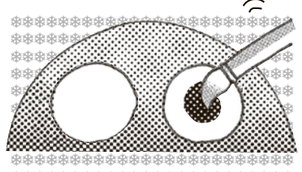
家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2024 ❷

夏前に取り組みたい、4科のポイント

協力：麻布個人指導会

新年度の勉強が始まって4か月になろうとしています。間もなく天王山である夏を迎えますが、6年生は徐々に受験生としての意識も出てきたはずです。時事問題を除いて一通り新出単元の学習も間もなく終わります。そして習った単元の総復習に夏から入りますが、その前の今しかできない勉強があります。

麻布個人指導会の2名の先生が今この時期お勧めの勉強法をレクチャーします。この夏に大きくステップアップできるよう、ぜひ取り組んでみてください。

高畑（たかはた）　美紀（みき）　講師

集団塾・個別指導塾の講師を歴任、受験指導のキャリアを積み上げる。勉強のスケジューリングを含む総合的・戦略的な志望校対策を得意としている。熱心な指導と明るい人柄で人気の講師。

最近の合格実績
豊島岡女子、鶴友学園、渋谷渋谷、広尾学園、浦和明の星女子、頌栄、芝、世田谷学園、成城、成蹊、日大二、跡見、恵泉、東京女学館、三輪田、栄東、西武文理など。

算数　志望校にとらわれることなく多様な問題に挑戦する時です！

●計算を楽にするには、数と友達になるのが一番

文章題を解くにも図形の問題を解くにも、素早く正確に計算する力はとても大事です。九九で9の段までは暗記できているはずですが、スピードがものを言う模試や入試に備えて、よく出てくる12の倍数、15の倍数、25の倍数まで覚えてしまうと余計な計算をせずに済ませられます。力技で筆算するお子さんが多いのですが、できれば楽に答えを出したいところです。

また、ある数が素数か合成数であるか瞬時に見分けがつくようにしておきたいものです。1～100までの数を10×10のマス目に書いて2を除く2の倍数、3を除く3の倍数……と順に合成数を消し込んでいく「エラトステネスの篩」で素数か否かの判別ができます。ちょっとしたゲーム感覚でできて、素数も自然と頭に入っていくのでお勧めの方法です。

●入試問題に手をつけるのに「早すぎる」はありません

入試問題で大きな柱になっているのが「割合」「速さ」「平面図形」です。模試・入試でこれらの単元が出ないということはありえません。5年生までで各単元とも基礎の部分は授業で習っています。

「速さ」を例に出すと、6年生で出てくるのは歩幅・歩数の問題、エスカレーターや動く歩道を歩く問題など、応用的な内容になってきます。塾のテキストだけではなく実際の入試問題も使うと十分な量を確保できます。志望校の入試問題は夏明けに取りかかりますので、それ以外の学校の問題を演習しましょう。気負いすぎて難関校の問題を選んでしまうと手も足も出ず、という状況になりますので、今到達している偏差値よりも易しめの学校の問題から選ぶとちょうど良いです。

●小問集合は入試でも得点源、どんどん解こう

模試でも入試でも、他の受験生ができた問題を落とさずに正解することが一番大事です。特に多くの試験で始めのほうに出てくる小問集合は短めの文章題から図形問題まで幅広く出題されています。どの単元を不得意にしているのかつかめていない場合は、朝学校に行く前の時間などを活用して、小問集合の大問だけを1日1校分解く習慣をつけていきましょう。様々な学校の算数の入試問題を集めた本が市販されていますので、それを1冊準備して取り組むのが便利です。算数を得意にしているお子さん、難関上位校を目指すお子さんもぜひやってみてください。

理科　不得意な分野を減らすため、復習と知識の整理に取り組む

●計算は算数の問題集を活用して毎日練習しよう

6年生は夏前のこの時期になると、これまで受けた確認テストや模試のデータが蓄積されてきます。くまなく見返すことで、どの分野のどの単元が苦手なのかわかってきます。特に物理の力学、化学の反応を不得手にしているお子さんが毎年多いのですが、大きく分けると解き方が定着していないお子さんと計算ミスを頻発してしまうお子さんの2タイプがあります。

解き方があやふやな場合は5年生のテキストを用いて基礎からの復習が必要で、これは夏前には一通り終わらせてしまいましょう。一方計算ミスが多いお子さんは小数の四則計算、百分率の一行問題を重点的に練習しましょう。算数では解答を小数ではなく分数で出すように指導している塾が多くあります。小数だけの計算で戸惑ってしまい、足元をすくわれることが少なくありません。掛け算・割り算の余りなどの小数点の打ち方、こういった基本的なルールも侮ってはいけません。

●得意だった単元も、いつの間にか不得意になりえます

植物や昆虫、岩石や天体など、覚えているだけで点数になる知識分野がたくさんあります。低学年で出てくるテーマが多いので「植物は好き」「昆虫が嫌い」など、当時好き嫌いで勉強してきたお子さんも多くいるはずです。受験直前期に慌てないように、今の時期から復習しておきましょう。

暗記しておくべき知識をまとめた塾や市販のテキストを使って取り組んで良いのですが、そこで大事なのは得意・不得意にとらわれずどの単元もまんべんなく復習することです。得意だと思っていた単元も時間が経って新しい知識が入る度に古い知識が少しずつ抜けていくからです。日によってころころとテーマを変えるのではなく「今週は天体を頑張る」と決めて集中して取り組むことで知識が整理されて力がつきます。塾のカリキュラムに合わせる必要はありません。並行して取り組むのは大変かもしれませんが、必ず実になっていくので辛抱強く努力していきましょう。

品川（しながわ）　高廣（たかひろ）　講師

かつて大手S塾とN塾の講師として培ったノウハウを存分に発揮して着実に学力を引き上げている。明るく親しみやすい人柄と雰囲気で、学年や性別を問わず多くのお子さんから慕われている。

最近の合格実績
桜蔭、栄光学園、慶応湘南藤沢、早稲田、芝、攻玉社、本郷、暁星、吉祥女子、鶴友学園、横浜共立、明大中野、世田谷学園、高輪、獨協、市川、立教新座、栄東、開智など。

国語　文章を読む時、問題を解く時　一番に丁寧さを意識しよう！

●「速読できる⇒国語ができる」は成り立ちません

早い人で夏休み、遅くても9月には志望校の過去問演習が始まります。夏前の今はそれに向けて正確な読解力を定着させる時期ととらえましょう。

これまで「問題文を読むスピードが遅く、模試で全ての問題を解ききれない」と悩むご父母が多くいらっしゃいました。模試の偏差値を上げるために1問でも多く解いてもらいたいという気持ちは痛いほどよくわかります。ですが、実際の入試は模試と比べて1問に対して時間をよりかけられることが多いのです。今のうちに丁寧に問題を解く習慣をつけておくことを強くお勧めします。「ふさわしくないものを選びなさい」「筆者の考えに合うものを全て選びなさい」など、速読することで肝心な指示を読み飛ばしてしまい点数が下がってしまった、というお子さんもいました。まずはじっくり腰を据えて目の前の1問に向き合うこと。スピードは自ずとついていきます。

●説明文と物語文、それぞれ読み方にコツがあります

説明文で筆者の意見を読み取れなくてはいけません。「～と思う」「～ではないだろうか」など書かれていればそこが要点だとわかるのですが、全ての文章が必ずしもそう一目瞭然とは限りません。今回お伝えしたいのが、対比関係から筆者の考えを読み取る方法です。例えば「戦前の日本の農家では隣近所と協力して農作業を行うことが多かったが、……」とあれば、裏を取って「現代の日本の農家は隣近所と協力して農作業を行うことが少なくなった」と類推することができます。高度な読解方法ですが、設問や選択肢が複雑になる難関上位校を目指すお子さんは家で課題を解くときなどトライしてみてはいかがでしょうか。文章を深く読み込めるようになります。

物語文は様々な作品を読んでください。ここ最近、女子校で男子が主人公の物語が出題されるケースが目立っています。「私だったらこんな気持ちになる」と主観で捉えるのではなく客観的に心情を推測する訓練は今から始めておきましょう。

●千里の道も一歩から、記述はスモールステップで頑張ろう

最後に問題の解き方に関してですが、ここでは記述問題に絞って話をしていきます。国語が苦手なお子さんで、模試の記述問題を空欄にしているケースがあります。国語そのものが嫌いで漢字と選択問題しか解きたくないという気持ちもわかるのですが、受験直前期に焦ってもどうにかなるものではありません。ただいきなり100字以上の長文記述が書けるようにはならないので、15～20字程度の短文記述から徐々に字数を増やしていくべきです。塾のテキストでは短めでも35字程度の記述問題が多くなりますので、市販の問題集など用いて訓練するのがお勧めです。

社会　今やってほしい社会の勉強、地歴と公民を1：1の比率で

●公民の知識は時間をかけて意味まで完全に押さえる

塾の進度で差異はあると思いますが、今の段階で近現代の歴史や公民分野の勉強をしているお子さんが多いのではないでしょうか。地理や歴史で知識の積み残しがあるとそちらが気になってしまうものですが、夏休み前はまず公民の勉強を重視してほしいです。公民の重要語句は地理や歴史と違って漢字から意味を類推することが難しいので、意味までしっかり押さえる必要があります。

夏休み以降で地理と歴史の総復習に取りかかる塾が多いので、抜けている知識はそこでフォローできます。ただ今何もしなくていいというのではなく、復習にとりかかるときのことを考えて、不得意な分野・時代を洗い出しておくようにしましょう。模試の結果が返却されたときの分野別・問題別の正誤表で確認すると便利です。

●地理・歴史は入試のトレンドを押さえ、要領よく復習

実際の入試では一問一答形式の問題はほとんど出題されません。地理ではグラフや雨温図など、歴史では写真や年表など、資料を基に考えさせる問題が出題のメインになっています。雨温図についてはこれまでの経験上「北海道」「長野などの中央高地」「香川などの瀬戸内」、この3つの地域判別が苦手なお子さんが多いです。共通して年間の降水量が少ないのが特徴ですが、北海道は梅雨の影響を受けにくいので6・7月の降水量が他地域と比較して少ないことで判別できます。残り2つは冬の平均気温が低いのが中央高地、高いのが瀬戸内地域となります。

言葉で伝えるとこれくらい複雑になってしまうのでピンと来ないお子さんが多いです。各地域の雨温図はまとまって塾のテキストや参考書に載っていますので、それにトレーシングペーパーを重ねてなぞってみましょう。切り取って重ねてみると細かな差異がわかりやすくなります。視覚で理解する方が圧倒的に理解しやすくなります。グラフは実際に自分の手で書いてみるのがお勧めです。

教務の現場から❸

●桜の季節が終わりました

今年は3月末の冷え込みで昨年よりも桜の開花が遅れた地域が多かったようです。東京も例に漏れず3月29日の開花となりました。多くの人を楽しませたソメイヨシノですが、現在我々に春を実感させているソメイヨシノは60年前後と言われる寿命を迎えた木が多く、体力の落ちた木では伝染病が広がっていて枯れていくものも多いそうです。また開花に一定の冬の寒さが必要とのことで、温暖化が影響していずれ日本では今のように綺麗に開花しなくなることが予想されています。

受験にも桜はつきもので「サクラサク」「サクラチル」と馴染み深い言い回しがあります。「世の中は三日見ぬ間の桜かな」流行り廃りも移ろいやすい世の中ですが、遠い将来、日本でソメイヨシノが咲かなくなっても受験を勝ち抜いた子ども達に「サクラサク」春が訪れますように。

教務：奥野

学生は一切派遣していません

創立38年　中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

252校にのべ713名の受験生が合格いたしました
2024年 中学受験合格実績（五十音順）

男子 ＝127校のべ368名の輝くゴール＝

青山学院	2名	聖光学院	3名
浅野	5名	成城	5名
麻布	5名	成城学園	2名
市川	7名	世田谷学園	5名
栄光学園	3名	専修大松戸	3名
海城	6名	高輪	6名
開成	4名	中央大附属	3名
開智	6名	筑波大駒場	1名
学習院	5名	東京都市大付属	9名
暁星	2名	桐朋	3名
慶応湘南藤沢	2名	東邦大東邦	7名
慶応中等部	1名	獨協	7名
慶応普通部	3名	都立桜修館	1名
攻玉社	6名	都立武蔵	1名
国学院久我山	4名	日大二	4名
駒場東邦	4名	広尾学園	3名
栄東	15名	法政大学	4名
サレジオ学院	3名	法政第二	2名
芝	7名	本郷	5名
芝浦工大柏	3名	武蔵	3名
芝浦工大附属	3名	明大中野	6名
渋谷教育渋谷	3名	明大明治	2名
渋谷教育幕張	4名	立教池袋	3名
城北	6名	立教新座	7名
巣鴨	6名	早稲田	4名
逗子開成	3名	早稲田高等学院	2名
成蹊	3名	早稲田実業	2名
		他多数合格	

女子 ＝125校のべ345名の輝くゴール＝

青山学院	2名	女子学院	5名
青山横浜英和	2名	白百合学園	3名
跡見学園	5名	成蹊	3名
市川	5名	成城学園	4名
浦和明の星	7名	洗足学園	5名
桜蔭	3名	中央大附属	3名
鷗友学園	5名	中央大附属横浜	2名
大妻	5名	東京女学館	6名
大妻中野	5名	東邦大東邦	5名
学習院女子	5名	東洋英和	5名
神奈川大附属	2名	豊島岡女子	7名
鎌倉女学院	2名	都立大泉	1名
吉祥女子	4名	都立立川国際	1名
共立女子	5名	日本女子大附属	2名
慶応湘南藤沢	2名	広尾学園	4名
慶応中等部	2名	フェリス女学院	1名
恵泉女学園	3名	雙葉	3名
晃華学園	2名	普連土学園	5名
香蘭女学校	6名	法政大学	3名
国学院久我山	3名	三田国際	3名
栄東	12名	三輪田学園	5名
実践女子学園	5名	明大明治	2名
品川女子学院	4名	山脇学園	5名
渋谷教育渋谷	3名	横浜共立	2名
渋谷教育幕張	3名	横浜雙葉	3名
淑徳与野	2名	立教女学院	4名
頌栄女子学院	6名	早稲田実業	2名
		他多数合格	

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍は含んでいません。
※ホームページには他の合格校も掲載していますので、ぜひご覧下さい。

これまでに7,000名を超える受験生の合格を支えています

入会の制約のない体験授業

塾や志望校、希望の教科が同じでも似た成績でも、相応しい講師が同じとは限りません。表に現れない講師の持ち味を十分に把握している教務スタッフがお会いして話し合い、人選することが重要だと考えています。

■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決めください。また、体験授業前の申込書へのご記入などはありません。
■体験授業だけの講師ではなく、実際に担当する講師が行います。指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分です。前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考えください。
■講師人選のご相談、体験授業、ご入会後の授業はオンラインでも受けられます。
■万一の場合には、改めて人選した講師による体験授業が受けられます。

指導料は完全な後払い

●入会金 33,000円（税込）　一家庭無期限有効
●月額指導料 52,800円～79,200円（税込）
［週1回（各2時間）の授業で月4回の場合］
※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。
※人選は指導料についてのご要望を加味した上でいたします。

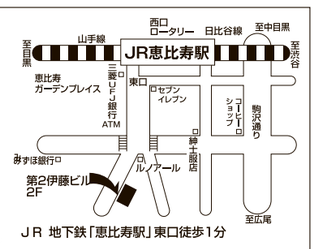
○入会金は体験授業でご納得いただいた後でご請求いたします。兄弟姉妹の方は必要ありません。
○指導料は月単位の完全な後払いです。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不明瞭な費用はありません。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。
○指導開始後も、多くの中学校に受験生を送り込んできた当会の教務が受験校のご相談など、さまざまなサポートをさせていただきます。

これまでの38年間もそしてこれからも中学受験を支える家庭教師を派遣します

「成績を伸ばしたい、志望校に合格させたい」。この家庭の要望に、当会は創立以来、中学受験の〝専門家庭教師〟のみを派遣してお応えしてまいりました。中学受験のサポートは、ぜひ当会にお任せください。

中学受験専門の講師による1対1個人指導教室を併設

家庭と教室とで指導する講師に違いはありません。全員が中学受験専門の講師です。教室は広い空間を確保し、圧迫感のない対面形式の授業を実現しています。また、授業の前後には自習室としての利用も可能です。



JR 地下鉄「恵比寿駅」東口徒歩1分

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から 0120-14-3004
《受付時間》朝7：30～夜8：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●携帯電話から 03-3440-1940
●HPで最新情報更新中　麻布個人指導会　検索
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F